

■日時 令和6年8月17日(土) ■天候 晴れ

大智学園高校・通 対 天理高校

■球場 浦安市運動公園野球場 第1試合 5回戦

決勝

■試合時間 2時間18分

■備考

■審判 球審:竹本 塁審:粟村 牧野 谷川

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
天理高校	東近畿・奈良	0	0	1	0	0	0	0	2	0	3	6	2
大智学園・通	東京1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

天理高校

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	捕	片山 蒼四郎	4	1	1	1	一邪		一ゴ		二飛			中安	
2	二遊	奥田 泰人	3	0	1	2	三振		中犠		遊飛			遊安	
3	三捕	船越 功	4	0	0	0	右飛		三ゴ					中飛	
4	遊三	高尾 昂志	4	0	1	0		三振		中飛		三ゴ		投安	
5	一	小西 健太	3	0	0	0		三ゴ		捕邪			遊ゴ	死球	
6	左右	肥後 一希	4	0	1	0		右安		三振			一ゴ	遊飛	
7	右二	中塚 大陽	3	0	0	0		四球			投ゴ		中飛		右飛
8	投	鈴木 快	2	0	1	0		三振			遊安				
9	中	中林 章太朗	2	0	0	0								三ゴ	三振
		水田 一成	3	2	1	0			左2		投ゴ			死球	三ゴ
合計			32	3	6	3	残塁:6		併殺:1						
備考															

■バッテリー

投手	捕手
鈴木 快	片山 蒼四郎
片山 蒼四郎	船越 功

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
鈴木 快	6	21	1	1	4	0	85
片山 蒼四郎	3	9	0	2	0	0	35

大智学園・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	右	石井 豪	4	0	0	0	投ゴ			三振		投ゴ			一ゴ
2	一	山田 薫大	2	0	0	0	捕邪			四球		四球			一邪
3	三	川島 源太郎	4	0	0	0	三ゴ			中飛		中飛			遊ゴ
4	左	古賀 友樹	3	0	0	0		三邪		投飛				三振	
5	投	渡邊 敦貴	2	0	0	0		死球			遊ゴ		三ゴ		
6	遊	船津 勇真	3	0	0	0		二併			一邪		三ゴ		
7	中	新嵩 勇武	2	0	0	0			遊ゴ		右飛				
7	打	佐藤 薫	1	0	0	0									三振
7	中	小口 大倭	0	0	0	0									
8	二	北沢 琉真	2	0	0	0			三ゴ			四球		二直	
9	捕	辻 順夫	2	0	1	0			中安			三犠		二ゴ	
合計			25	0	1	0	残塁:3		併殺:0						
備考															

■バッテリー

投手	捕手
渡邊 敦貴	辻 順夫

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
渡邊 敦貴	9	36	6	6	3	3	119

■戦評

風の影響により1日順延を挟んで迎えた71回大会の決勝は大智学園高校・通信制と天理高校の顔合わせとなった。一昨年(69回大会)は決勝で対戦し天理が昨年(70回大会)は準決勝で対戦し大智学園がそれぞれ勝利しており文字通り定通野球の頂点を決める一戦となった。試合が動いたのは3回天理は先頭の9番水田が遊撃手と左翼手の間に落ちる安打を放つと相手の守備の隙を逃さず一気に二塁を陥れる。続く1番片山が進塁打となる内野ゴロで走者を進め2番奥田の犠飛により1点を先制する。対する大智学園は4回一死から2番山田が四球で出塁すると相手のミスが重なり三塁まで進塁し一死三塁の好機を迎える。ここで3番川島は中堅へ浅い飛球を放つも三塁走者が動けず同点機を逃す。決勝戦にふさわしい息詰まる投手戦は1-0のまま終盤へ。8回天理は一死から9番水田が死球で出塁すると捕逸により得点圏に進む。ここで1番片山が中堅へ適時安打を打ち貴重な追加点を奪う。さらにボーク暴投で大智学園にミスが重なり一死三塁とし2番奥田も適時安打で続き3点差とし勝利を手繰り寄せると7回から救援した天理2番手片山が一人の走者も許さない完璧な救援を見せ試合終了。3-0で天理が勝利し2年ぶり19回目の頂点に振り返った。一方惜しくも3年連続準優勝に終わった大智学園であったが優勝した天理同様に攻守にわたりレベルの高い野球を見せ今大会を大いに盛り上げたことは多くのチームの手本とする所であったことは言うまでもないだろう。